キャラクター名
シュシュ・アシェンプテル

プレイヤー名

メインクラス	シーフ	**Lv.1:**		**レベル**	7
サポートクラス	ニンジャ	**Lv.1:**	バイキング	**性別**	男性
称号クラス				**年齢**	17
種族	フィルボル			**境遇**	渡来
出自（効果）	前科者			**目標**	友情

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	12	18	7	21	11	8
ボーナス	3	4	6	2	7	3	2
クラス修正	0	2	2	1	1	0	0
他修正							
能力値	3	6	8	3	8	3	2

HP	69
MP	70
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	縄切り用のナイフ(闇夜の刃)	至近	0	6	0	0	0	0	0
左手	未装備(闇夜の刃)	至近	0	6	0	0	0	0	0
頭部	黒薔薇の髪飾り(風音の帽子)							2	
胴部	フェザーアーマー					9		1	
補助	クイックバンド							2	1
装身具	ロストデビルズアイ							4	
能力値			6	0	8	0	3	16	8
スキル			-2					5	
その他								1	15
総計(右)			4	6	8	9	3	31	24
総計(左)			4	6					
総計(両)			4	12					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	8			8	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	8			8	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定	3			3	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	6			6	+ d

所持品	
MPポーション	爆撃符
ハイMPポーション*5	
万能薬*3	
ベルトポーチ	
小道具入れ	
ポーションホルダー	
異次元バック	
漆黒の星	
蝶の巻物	
名馬	
ビーストカレー+グリーンカレー	

現在重量： 36		
最大重量： 36	所持金： 8565	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ニンブル	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 作成時に行動値+3								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果： 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
	1							
効果：								
	1							
効果：								
	1							
効果：								
	1							
効果：								
アウルアイド	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 明度ルールにおいて明度1~2による判定のペナルティを-1dから-2に変更する。								
インテンション	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 【最大MP】+CL								
トレーニング/敏捷	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 敏捷基本値+3								
トレーニング/感知	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 感知基本値+3								
フェイス/ダグデモア	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 行動値+2　これ以外のフェイス系獲得不可								
アサシンI	★	-	戦闘前	-	自身	自動成功	アコライト	
効果： フェイト1点消費。ダメージ軽減を行なう「分類:魔術」の効果に+1dする。この効果はシーン終了まで継続する。								
アサシンII	★	-	ｾｯﾄｱｯﾌﾟﾌﾟﾛｾｽ	-	自身	自動成功	アコライト	
効果： ヒールを同時に使用する。フェイト1点消費。この効果によりヒールがセットアッププロセスで可能になる。								
ビジランテ	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 隠密状態のキャラを発見しようとする。または、隠密状態の自身を発見しようとしている対象の感知判定に+1dする。								
効果：								

PL:失敗作ノア
盗賊を生業としていた家で生まれ、親からの虐待を受け続けた日々を過ごしていた少年。
ある日強制的に護衛バイキングの襲撃に参加させられ、ナイフ一本でバイキングの前に出されたあと皆から見捨てられた。
1人だけとなった彼は武装したバイキングのメンバーに囲まれて腰が抜け、謝りながら泣き続けた。
ナイフに血が付いておらず、使われた痕跡がなかったことに気づいたメンバーの一人が彼を保護。

今では虐待時代に願い続けた神の力を使い、メンバーの回復担当のひとりとしてバイキングで働いてもらっている。
性格は臆病で少し人見知りであり、いつも誰かに振り回されている彼が船の中で見られ一種の日常茶飯事になっている、彼の名前は後にメンバーによってつけられた名前である。

檻の生命後
攻撃の被害によってか、酷使したせいか、理由は定かでは無いが魔法が起動しなくなった。
この事で酷く傷つき、渋々遊撃メンバーとして参加することになったが、ビビってしまっていた。